

なでしこ通信



かけはし

SAISEIKAI SHIGA HOSPITAL NEWS

No. 116

発行 平成27年2月
発行元 済生会滋賀県病院
〒520-3046
滋賀県栗東市大橋二丁目4番1号
TEL (077) 552-1221 (代)
URL <http://www.saiseikai-shiga.jp/>
編集 広報活動委員会

かけはしのコンセプト

患者さんをはじめ、地域のみなさまと済生会滋賀県病院とをつなぐ“かけはし”として、心温まる医療への思いを込めております。



高島市

▶ CONTENTS

なでしこプラン ブラジル人学校児童へ無料健康診断事業を実施	2
リハビリ通信	4
～済生会今昔物語～	5
湖南がんネットを開催しました!!	6
ドクターヘリ格納庫建設の安全祈願祭	7
ミッションインホスピタル募集	7
ご利用の方々から頂いたご意見・ご要望 (Q&A)	7
外来診療担当表	8



日本医療機能評価機構

済生会滋賀県病院の理念

私たちは、済生会の「救療済生」の精神に基づき、安全で質の高い医療の提供と、心温まるサービスを実践し、地域の皆様の安心と幸せな未来へ貢献します。

なでしこプラン

ブラジル人学校児童へ無料健康診断事業を実施

社会福祉事業課 ● 石井 啓介

済生会は明治44年、明治天皇の「生活苦で医療を受けることが出来ず天寿を全うすることができない人を救いたい」との思いから設立されました。その目的を果たす制度が、生活保護受給者をはじめとして低所得者の医療費を免除または減額する「無料低額診療（無低）事業」で、本会は医療施設を中心に広く展開しています。しかし、現実には、こうした社会保障制度の対象とならない人、例えばホームレスや所得が基準より少しだけ多くて生活保護の対象にならない人、あるいは少額の国民年金だけで生活しているお年寄り、着の身着のまま避難したDV被害者、更生保護施設で社会への復帰を目指している人等もたくさんいます。無低事業の対象者より広く、医療・福祉サービスにアクセスできない人々を支援しようとスタートしたのが、本会の紋章を冠した「なでしこプラン」事業です。当院は同事業としてブラジル人学校「日本ラチーノ学院」の無料健康診断を3年前から実施していますので、ご紹介します。

例年、なでしこプランのひとつとして、近江八幡市にありますブラジル人学校「日本ラチーノ学院」の学童期の生徒さんを対象に無料健康診断を行っています。

滋賀県はブラジル人の方々が多く住んでいる県であり、当院にも多くの方々が受診されます。当院通訳者は受診時の通訳を日々、数多く行っている現状があります。

日本では学校基本法で健康診断が義務づけられていますが、ブラジル政府の認可を受けている日本ラチーノ学院の日本での扱いは「各種学校扱い」となり、これまで学校健康診断が行われることはありませんでした。

そのような背景から、今回も滋賀県国際室や近畿大学総合



社会学部准教授のコーディネートで健康診断を行うこととなりました。

今回は約50名と健康診断を受診される児童も多いため、2日に分け尿検査、身長・体重測定、問診を実施しました。また例年は当院健康管理センターにて行っておりましたが、今回は日本ラチーノ学院にて健康診断を行いました。

両日とも、小児科医師、健康管理センター事務、医事課事



務、看護師、医療通訳の協力を得て実施しました。

初日には丁度、お昼時ということもあり、到着するや否や、副校長先生より給食に招待されました。野菜や豆中心の献立であり、とてもヘルシーな印象を受けました。おもてなし頂いたことは嬉しく、驚きましたが、普段の食事について知ることが出来て良かったと皆で話していました。

そして、いよいよ健康診断の始まりです。低学年の児童からスタートしました。国際室の通訳さんのサポートもあり、順調に健康診断は進みました。体重計にのるのに、靴を脱ぐことに戸惑う生徒さんや、とても緊張した面持ちの生徒さん、逆に雰囲気を楽しんでいる生徒さんなど、それぞれの表情を見ることができました。問診で

は、小児科医師がBMIを計算していました。後で学校の先生から伺ったお話ですが、炭酸飲料を飲む生徒さんが多いとのことで、糖분을摂取しすぎることを心配されていました。

健康診断もスムーズに終わり、初日には学校の見学もさせて頂きました。下は1歳の幼児さんもおられるとのことで、丁度お昼寝の時間のようなようでした。廊下・階段の壁には生徒のみなさんが持ってきたトリック写真が数多く飾られているのが印象的でした。何か日本の学校とは違う雰囲気を感じることができました。その後、低学年から順番に高学年までの教室を見学しました。真剣にテストを受けている姿や、12月に行うクリスマス会に向けて、演奏や歌の練習をしている姿を目にすることができました。

今回は、初めて学校に出向いての健康診断でしたが、滋賀県国際室や近畿大学総合社会学部准教授の協力のお陰でスムーズに健康診断を行うことができました。問診を見ている、親御さんの健康診断への関心は高いようで、継続して欲しいというご要望も頂きました。

またこの度、東近江市の廃校を利用され、現在の場所から移転されるとの話を伺いました。設備を整えば、更に受診の人数を増やすこともできそうです。

このように健康診断を継続していくことで、早期の受診につながることで、また健康に対する意識の増進にも貢献できれば良いと考えています。

来年度以降も、滋賀県国際室・コーディネートして頂いた近畿大学総合社会学部准教授・学校との連携を取りながら継続して実施していきたいと考えています。

